



国境を越えた家族の絆が、小諸に根を下ろす 八角堂院長 八角有希さん(44歳) || 小原 ||

本町にある美容室の二階で鍼灸マッサージ院「八角堂」を営む八角有希さん。八角さんと小諸との縁を結んだのは、夫・朗太さんの父・ヘンドリックさんだった。

八角さんは東京生まれ。結婚前は証券会社や税理士事務所で働いていたが、妊娠中体調不良に悩まされたことや、自身が子どもの頃から鍼治療など東洋医学に興味を持っていたこともあり、「人体の不思議をより学びたい」と、子どもが一歳を迎えるのを待ち四年制の東京医療福祉専門学校へ入学。家事、育児、親の介護などを抱えながらも懸命に学び鍼灸マッサージ師の資格取得に励んだ。

ここで、義父・ヘンドリック



八角さん本人



施術風景



自宅近くのお気に入りの場所・諏訪神社

さんについて少し触れたい。ドイツ人のヘンドリックさんは、妻の親戚が八満に住んでいた縁で小諸を訪れた。もともと全国の神社仏閣を巡るなど、日本の歴史に関心を持っており、小諸の城下町としての歴史や、晴天率が高い爽やかな気候にも魅了され小原に家を構えることに。以後ドイツ・ハンブルクの本宅を拠点に、夏は毎年小諸を訪れ、庭仕事や地域行事を楽しむなど、この地での暮らしを心から楽しんでいったという。

八角さんが専門学校在学中、ヘンドリックさんが体調を崩してしまふ。介護のため、夫の朗太さんは子どもを連れてドイツへ渡り、八角さんは東京で暮らすという家族が離れて生活する時期もあった。やがてヘンドリックさんが「最期の時間を小諸で過ごしたい」と望んだこと、そして八角さん自身も、結婚前から朗太さんに連れられて何度も訪れるうちに小諸に親しみを感じていたことから移住を決意する。

移住後、鍼灸マッサージ院開業を目指して物件を探すが、縁あって現在の場所と出会い、2025年8月に「八角堂」をオープンさせた。施術メニューは全身施術の他に美容鍼や育毛鍼、表情筋トレも取り入れている。「通わせない治療院なんです」と八角さんは笑うが、症状によっては、施術とあわせて自宅で行えるセルフメンテナンスの相談にも応じている。開業から八か月。地域とつながるきっかけになればと始めた



八角 雨 窗



Instagram

(取材・文 金子美江)

現在は仕事と子育ての両立に追われる毎日だが、「もう少し慣れてきたら、仕事と暮らしのバランスを考えながら、さらに学びを深め、その学びを地域に還元していきたい」と展望を語る。「少しずつ町に馴染めたら。義父が繋いでくれた縁を生かし、小諸の街に貢献できる人になりたいと思っています」。

春とウコンと肝臓と

エイジングと薬膳



カレーの香辛料・ターメリック、ご存知ですか。和名はウコンです。たくあんの色素としても使われ、主要成分はクルクミン。抗酸化、抗炎症、最近抗認知症作用もあるといわれています。なぜ春にウコンかというと、春に最も影響を受ける肝臓の気の流れをよくするからなのです。

肝臓にある気は上昇しやすく、怒ったり、イライラしやすくなります。結果、高血圧、不眠、めまい、目の充血、健忘などの症状を発症。そんなとき、ウコンが肝臓にある気の流れを調節してくれます。

そこで春におススメのグリンピース入りウコンご飯を紹介しましょう。材料は米2カップ、グリンピース2分の1カップ、ウコン小さじ2分の1。材料を炊飯器に入れ、塩小さじ2分の1、米の2割増しの水を加えて普通に炊きます。

グリンピースには解毒作用もあり、黄色いご飯に緑のポールも可愛く、食欲をそそります。木の芽や錦糸卵を添えるとおしゃれなご馳走にも。

(国際中医薬膳師 小清水由良)